雑 感

～九州地区公立学校事務長会研究協議会熊本大会を終えて～

九州地区公立学校事務長会

前会長 瀨田 敏彦

(熊本県立八代高等学校・八代中学校)

令和5年6月8日(木)から6月9日(金)に、九州各県から多数(熊本県外80数人、熊本県70人)の会員の皆様をお迎えし、「第45回九州地区公立学校事務長会研究協議会並びに総会」を、熊本市において盛大に開催することができました。昨年度から準備をしてきました熊本県公立学校事務長会にとりましては、盛会に終えることができたことで、安堵と達成感を実感することができました。御来賓の皆様方には、公務御多忙の中、熊本県教育長白石様、全国公立学校事務長会前会長脇田様をはじめ多くの皆様に御臨席を賜りました。開催に当たりましては、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県公立高等学校長会等、教育関係諸団体の御理解と御支援をいただきました。この紙面を借りて、改めて厚く感謝を申し上げます。

令和5年度で第45回を迎えた本研究協議会は、九州地区公立学校の事務長が一堂に集う唯一の場であり、県を超えての業務の情報交換ができ、事務長の職責の重みを共感するなど、今日まで重要な役割を果たしてきています。近年は、令和2年度の沖縄大会、令和3年度の宮崎大会がコロナ禍の影響により大会が余儀なく中止となり、令和4年度は鹿児島大会でハイブリッド形式の一部参集型で大会が開催されました。縮小版ではありましたが、本年度に繋がった大会でした。それぞれの開催県で大会に向けて取り組まれた実績が、今回の熊本大会に繋がったものと思います。「九州はひとつ」の合言葉のもと、これまで頑張ってきた先輩方の思いも受け継いで、熊本大会では参集いただいた皆様とオンラインでつながった皆様と情報を共有し、学校事務と事務長の職務について、会員相互の知識と経験の交換を行うことができました。

本大会では、大会テーマ「学校経営における事務長の職務と諸問題の研究協議並びにその実践」のもと、大分県から「統括事務室制度について～7年目の考察」、熊本県から「チーム学校の実現に向けたアプローチと実践～熊本県における学校事務の課題解決を目指す3年間の取組～」の2つの研究発表がありました。また、「学校における災害対策について」、「ICTを活用した学校事務の業務改善」の2つの研究協議を行い、各学校における具体的な事例や取組状況を出し合い、それぞれの県や学校で抱える共通的な課題等について、パネルディスカッションを行いました。また、本大会では初めての取組として、6月8日の1日目に「くまモンから学ぶ学校活性化とPRのヒント」と題して、熊本県知事公室くまモングループの鳥井課長から講話をいただきました。くまモンサプライズ登場には、他県の参加者だけでなく、熊本県の参加者まで驚きと感動を共有することができ、大変充実した大会となりました。

本年度の熊本大会では、ここ数年九州各県の皆さんの参集ができていなかった九州大会が、久々の参集の大会となったことが相まって、九州各県の会員の皆様の笑顔と大会独特の空気感のすばらしさを改めて実感することができました。地区大会担当県会長として、また、ここから次に繋がっていくことを祈念しています。